

# 事務事業評価シート（1/2）

1頁  
令和 2年 8月25日  
19時14分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001421010 下水道課経営係  
事務事業 03093 下水道維持管理事業

所属長名 稲垣 英樹  
担当者 平下 勝  
電話番号 0566-71-2247

## 【基本情報】

計画回数	02	第8次安城市総合計画		
5Kの分類	002	環境		
項目（施策）	002	4都市基盤（住環境）		
施策の方針	003	良好な水環境の実現		
事務事業	059	下水道維持管理事業		
事業期間	平成5年度～			
実施方法	一部委託			
会計区分	下水道事業	事業区分	義務的／政策的	性質別費目
健全事業		マニフェスト		地方創生
根拠法令等	下水道法、浄化槽法ほか			
備考	平成31年度に下水道事業を企業会計に移行したことにより、事務事業を下水道維持管理事業、下水道建設改良事業に再編しました。			

## 【事業分析】

対象	下水道使用者が
目的	安全・安心な下水道サービスを継続して受けることができます。
手段	下水道施設の計画的な点検及び維持管理を行い、その機能を保持するとともに、接続率の向上を図ります。
事務内容	汚水管路等施設管理、事業場排水管理、接続促進、水洗便所改造融資あっせん、雨水貯留施設設置促進など

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	0	3,045,324	3,104,117
事業費	0	2,969,724	3,028,517
国庫支出金	0	9,500	8,500
県支出金	0	0	0
地方債	0	0	0
その他	0	965,328	1,096,511
一般財源	0	1,994,896	1,923,506
人件費計	0	75,600	75,600
正規（人）	0.00	12.00	12.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】		下水道使用料調定額 1,442,745千円 【運転・監視・点検】 管渠、広美中継ポンプ マンホールポンプ、福 釜浄化センター 一式 【排水水質検査】 特定事業場 32箇所	下水道使用料調定額 1,597,067千円 【運転・監視・点検】 管渠、広美中継ポンプ マンホールポンプ、福 釜浄化センター 一式 【排水水質検査】 特定事業場 35箇所

# 事務事業評価シート (2/2)

2頁  
令和 2年 8月25日  
19時14分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001421010 下水道課経営係  
事務事業 03093 下水道維持管理事業

## 【定量評価】

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
下水道接続人口	人	138,000.00	140,300.00	142,600.00
		138,054.00	140,863.00	0.00
管路損傷、ポンプ場、マンホールポンプ、浄化センター事故件数	件	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
下水排水基準を超過した事業場	箇所	0.00	0.00	0.00
		4.00	4.00	0.00
接続促進活動（通知・訪問）	件	2,710.00	2,780.00	2,760.00
		2,655.00	2,425.00	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が整備した施設であり、他事業主体が行うべきではありません。		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	市が整備した施設であり、他事業主体が行うべきではありません。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	下水道への接続により、生活環境の改善を図ることができます。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	施設等の維持管理を民間事業者に委託し、効率化を図っています。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	他の自治体においても、同様の維持管理を行っています。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	下水道施設に起因する道路陥没等による事故を防止するために、定期的な点検を継続していきます。また、整備した下水道を有効なものとするため、接続人口が増加するように、継続して下水道接続促進活動を行っていきます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。

# 事務事業評価シート（1/2）

3頁  
令和2年8月25日  
19時14分45秒

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001421010 下水道課経営係  
事務事業 03094 下水道建設改良事業

所属長名 稲垣 英樹  
担当者 平下 勝  
電話番号 0566-71-2247

## 【基本情報】

計画回数	02 第8次安城市総合計画				
5Kの分類	002 環境				
項目（施策）	002 4都市基盤（住環境）				
施策の方針	003 良好な水環境の実現				
事務事業	060 下水道建設改良事業				
事業期間	昭和49年度～				
実施方法	一部委託				
会計区分	下水道事業	事業区分	義務的／政策的	性質別費目	
健全事業		マニフェスト	○	地方創生	
根拠法令等	下水道法、浄化槽法ほか				
備考	平成31年度に下水道事業を企業会計に移行したことにより、事務事業を下水道維持管理事業、下水道建設改良事業に再編しました。				

## 【事業分析】

対象	下水道計画区域内の住民・事業者が
目的	下水道整備により下水道が使えるようになり、衛生的な生活環境への改善を図ることができます。
手段	下水道の整備により、供用区域を拡大し、普及率の向上を図ります。併せて、大規模地震の発生に備え、下水道施設の耐震化を進めます。
事務内容	汚水管路整備、下水道耐震化など

## 【コスト】

（単位：千円）

	平成30年度 決算額	平成31年度 決算額	令和2年度 予算額
トータルコスト	0	2,951,432	3,230,681
事業費	0	2,882,132	3,161,381
国庫支出金	0	357,030	360,300
県支出金	0	0	0
地方債	0	511,200	702,100
その他	0	669,462	772,598
一般財源	0	1,344,440	1,326,383
人件費計	0	69,300	69,300
正規（人）	0.00	11.00	11.00
その他経費	0	0	0

	平成30年度	平成31年度	令和2年度
【事務事業活動実績】		【下水道築造工事】 尾崎、平貴、箕輪福釜 南明治区画、桜井区画 及び和泉中工区 【路面復旧工事】 尾崎、三別及び和泉中 工区 【耐震補強工事等】 マンホール 6箇所	【下水道築造工事】 尾崎、平貴、箕輪福釜 南明治区画、桜井区画 及び和泉中工区 【路面復旧工事】 尾崎、平貴、箕輪福釜 及び和泉中工区 【耐震補強工事】 広美中継ポンプ場 マンホール 1箇所

# 事務事業評価シート (2/2)

評価年度 平成31年度 進捗区分 1次評価  
所属 0001421010 下水道課経営係  
事務事業 03094 下水道建設改良事業

上段：目標値 下段：実績値

指標名	単位	平成30年度	平成31年度	令和 2年度
供用開始面積	ha	30.00	41.00	36.00
		31.00	39.00	0.00
下水道普及率	%	79.70	80.70	81.60
		79.50	80.70	0.00
下水道耐震化率 L = 725m	%	0.00	0.00	0.00
		0.00	0.00	0.00
マンホール浮上防止等耐震化率 N = 35基	%	97.10	97.10	100.00
		88.60	97.10	0.00

## 【定性評価】

カテゴリ	評価の観点	基準	ランク
1	必要性 国・県・民間等との補完性	1 国・県・民間等がサービスを行っていない	1
		2 国・県・民間等のサービスは不十分で、市で補完する必要がある	
		3 国・県・民間等が同様のサービスを行っている	
理由	市が整備を行う施設であり、他事業主体が行うものではありません		
2	必要性 市民ニーズの有無	1 市民ニーズは充分にある	1
		2 社会情勢の変化等により市民ニーズは低下している	
		3 市民ニーズはない又は不明である	
理由	下水道を整備することにより、住みやすくなります。		
3	有効性 目標に対する進捗状況	1 目標を上回る又は目標どおりの進捗である	1
		2 目標を下回る進捗状況である	
		3 進捗はかなり遅れている	
理由	目標を達成するため、工事の早期発注及び早期完了を行います。		
4	効率性 事業の効率化・事業費の削減	1 事業手法の検討や事務改善に取り組み、具体的な成果を上げている	1
		2 事業手法の検討や事務改善に取り組んでいる	
		3 事業手法の検討や事務改善にあまり取り組めていない	
理由	下水道クイックプロジェクトを参考に、コストの削減を図ります。		
5	公平性 事業規模・サービス水準	1 環境変化や他自治体等と比較して適正である。	1
		2 環境変化や他自治体等と比較してあまり適正でない。	
		3 環境変化や他自治体等と比較して適正でない。	
理由	事業規模や整備状況は、全国平均と概ね同等です。		

## 【1次評価結果】

事業の方向性	維持・継続
1次コメント (400文字)	住居系の市街化区域の整備が概ね完了したため、投資効果の高い人口が集中している住居系の市街化調整区域の整備を進めるとともに、油ヶ淵の水質の改善を図るため、油ヶ淵流域の市街化調整区域においても整備を進めます。

## 【2次評価結果】

事業の方向性	評価未実施
2次コメント (400文字)	本事業においては、2次評価を実施していません。